

開業効果、上昇基調続く

1日発表された北陸信越5県の県庁所在地にある新幹線駅前の最高路線価は、金沢、富山が前年に比べ地価が上昇する「プラス圏」となった。北陸新幹線の開業効果で駅前エリアの投資や不動産需要は今後も堅調に推移するとみられ、地価は上昇基調にある。

福井、長野も前年の下落から横ばいに改善した一方、新潟だけが下落した。

新潟のみ下落

5県の最高路線価は、高円、富山駅前通り44万

い順に、金沢駅東広場通り59万円、新潟駅前通り45万円、富山駅前通り44万

円、長野駅前通り28万5千円、福井駅前電車通り26万

5千円だった。金沢は前年

より5万円アップし、2位

の新潟との差を広げた。3

位の富山も前年の横ばいか

ら上昇に転じ、新潟との差

を1万円まで縮めている。

北陸信越の路線価トップ

を1万円まで縮めている。